

分 類：臨床医学 VI (CC2)

授 業 科 目 名：秋田県研修病院実習（clinical clerkship in training hospitals in Akita Prefecture） - 卒後臨床研修病院における診療参加型臨床実習で幅広い経験を積み、総合的な診療能力を向上する -

対 象 学 年：5 年次 必修

時間割コード：71643002-30

1. 主任教員

学務委員長 ()

2. 担当教員

学務委員長 ()

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

ねらい

学内における 1 年間の診療参加型臨床実習（CC1）の終了後、5 年次後期からの CC2 開始時に、医学教育の集大成として第一線の臨床現場である秋田県内の卒後臨床研修に関わる医療機関で臨床実習する。この実習により、地域医療連携を含めた医師としての幅広い経験を積み、将来、どの分野に進んでも大切な総合的な診療能力を向上させるとともに、卒後臨床研修に向けての学修意識を高める。さらに、実習経験を通じて、プロフェッショナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、医療制度、EBM に関する実践力を幅広く向上する。

学修目標

秋田県内の卒後臨床研修病院を中心とした実習協力病院で 3 週間の地域実習を 5 年生全員が同時に行う。CC1 の経験を生かし、上級医の指導の下で研修医とともに主治医チームの一員として診療に参加するなど、学生実習で認められる範囲で積極的に入院あるいは外来診療・地域医療連携（地域包括ケア）を経験し、総合的な診療能力および患者や各医療従事者とのコミュニケーション力を向上させる。さらに、この時期に、各医療機関における卒後臨床研修を意識した実習を経験することにより、その後、CC2 期間の診療参加型臨床実習に取り組むモチベーションを上げる。（1-1～1-2、2-1～2-8、3-1～3-7、4-1～4-8、5-1～5-5、6-1～6-2）

1. 主要症候や病態に対して十分な医療面接、身体診察による臨床推論および初期対応ができる。
2. 系統だった臨床検査、画像検査が適切に提案できる。
3. 正確で系統だった症例提示とカルテ記載ができる。
4. 一般的な急性・慢性疾患や病態に対して治療方針の提案など適切に対応できる。
5. EBM の意義を正確に理解して問題解決のために実践できる。
6. 患者さんとラポールを形成するような人間関係が構築できる。
7. 広義のチーム医療、多職種連携の重要性を理解し実践できる。
8. 地域医療連携、地域包括ケア、予防医学に関する知識があり実践できる。
9. 各種医療制度を理解し、介護保険等、一般的な書類記載内容について指導医に提案できる。
10. 卒後臨床研修を意識して診療参加型臨床実習を充実することができる。
11. ICT を活用した的確な情報収集ができる
12. これらの実習経験を通じて、医師のプロフェッショナリズム、医の倫理、医療行動科学、医療安全、医療制度、EBM に関する実践力、様々な患者背景を考慮した総合的な診療能力を幅広く向上する。

4. 教科書・参考書

手引き 後日配付予定

各病院における推薦図書

5. 成績評価の方法

各受入病院の臨床教授等による評価、提出実習レポート評価、実習出席状況及び実習態度を評価する。CC - E P O C の入力状況も評価対象となる。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

本科目は「秋田大学 COC キャリア認証プログラム」に定める「地域志向科目」である。

秋田県研修病院実習

授 業 展 開	授 業 内 容
---------	---------